

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 兵庫県立佐用高等学校体育館 Dコート

試合区分: No. 208 成年女子 1回戦

期 日: 2006(H18)年10月1日(日)

主審: 神田 亮一

開始時間: 15:15

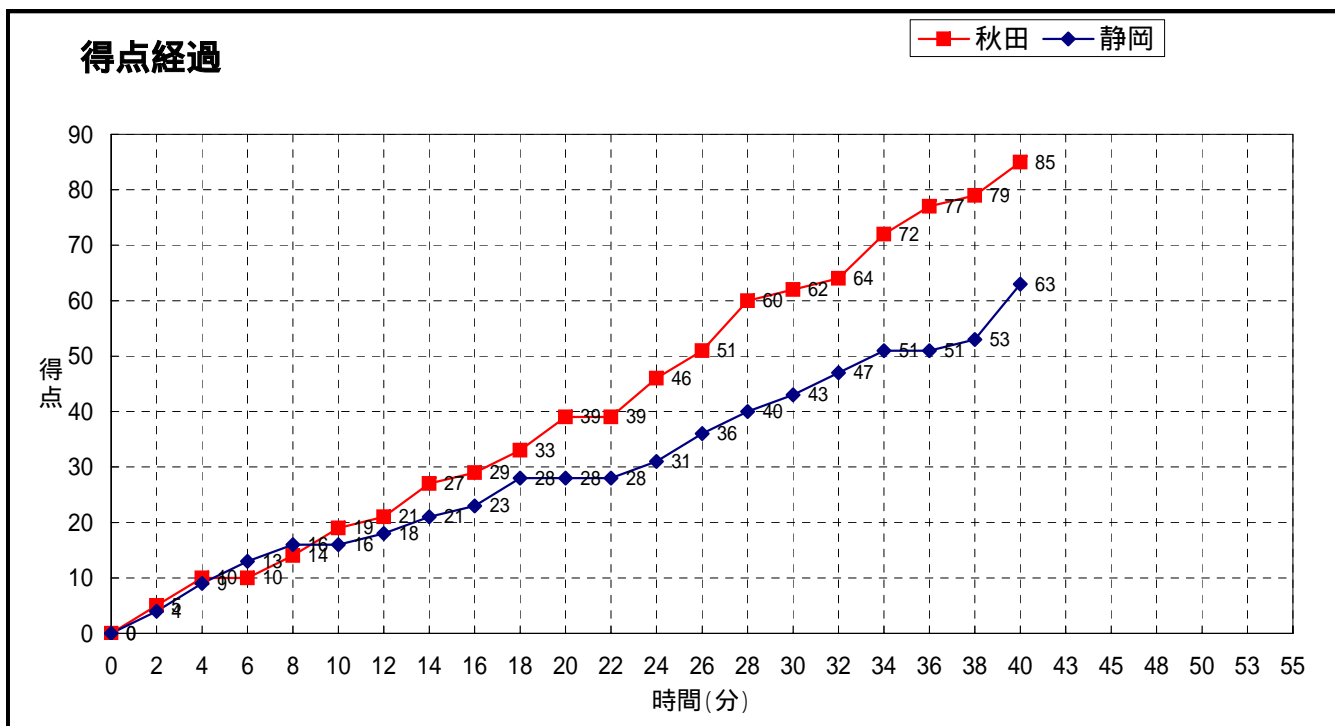
副審: 伊藤 亮介

終了時間: 16:40

入場者数: 200

秋田						静岡									
85						63									
(東北)						(東海)									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		松橋 美津代	2	0	1	0	1	4	*	平井 奉子	12	2	2	2	4
5	*	山手 陽子	4	0	2	0	3	5		中西 美帆	0	0	0	0	2
6		大和谷 雅子	13	1	4	2	2	6		坂本 麻衣子	0	0	0	0	0
7	*	佐藤 麻衣	13	1	5	0	3	7		杉山 りえ	8	1	2	1	2
8		福司 恵美子	0	0	0	0	0	8		田村 あゆみ	6	2	0	0	0
9	*	伊藤 千佳	17	3	4	0	1	9	*	青木 弘子	4	0	2	0	4
10	*	石岡 美香	7	0	2	3	4	10		内山 真佑	0	0	0	0	0
11		佐々木 智未	2	0	1	0	0	11	*	内田 里香	2	0	1	0	1
12	*	大島 ゆり	19	1	7	2	1	12	*	名木 洋子	15	1	5	2	4
13		有明 葵衣	4	0	2	0	2	13	*	櫻田 佳恵	16	2	3	4	2
14		山内 晴美	2	0	0	2	0	14		山本 佳奈子	0	0	0	0	2
15		保坂 和音	2	0	1	0	1	15		林田 佳納	0	0	0	0	1
コーチ		木村 仁						コーチ		笠井 弘昭					
合計			85	6	29	9	18	合計			63	8	15	9	22

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、お互いに激しいマンツーマンディフェンスで始まったが、秋田が#12大島の3Pシュートなどで、開始3分過ぎで8-4とリードする。しかし静岡も3Pシュート、ミドルシュートで10-9の1点差まで追いつける。その後秋田は3分間得点なし。対する静岡はフリースロー、リバウンドからのシュートを確実に決め逆転。その後秋田が同点に追いつき、さらに残り1分で#9伊藤の3Pシュートが決まり、19-16で秋田がリードする。

第2ピリオド、秋田が攻めるがリングに嫌われ、3分が経過した時点で23-21と2点のリードにとどまる。その後、秋田は#13有明のリバウンドシュート、#9伊藤のカットインで得点を重ね、29-23とリードを6点に広げる。反撃にでた静岡だが、ディフェンスリバウンドが取れず、#13櫻田の3Pシュートで点をかえすがやっとな。秋田が速攻、フリースローを決め前半を39-28とリードする。

第3ピリオド、早く追いつきたい静岡だが、ターンオーバーが続き得点できない。静岡#4平井の3Pシュートで試合は動き出す。秋田も、コンビネーションプレイ、3Pシュートと加点し、リズムは秋田ペースのまま。中盤から、両チームのプレイも激しくなり、ファールがかさみ出し、得点も動き出す。徐々に秋田がリードを広げ、終了間際に#9伊藤のレイアップが決まり、62-45で終了。

第4ピリオド序盤、静岡はリング下でがんばりリズムを取り戻そうとするが、秋田も連続3Pシュートで主導権を渡さない。その後も、スティールからの速攻が決まり、76-51と秋田がリードを広げたところで、静岡がタイムアウト。少しでもリズムを変えたい静岡だが、シュートが決まらず、逆に点差を広げられる。残り1分、静岡も連続3Pシュートで意地を見せるが、終始、早いリズムをキープした秋田が、勝利を手にした。

担当者: 田中 希佳(相生市バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会